

旭市の農業産出額

市長 明智忠直



農業のまち旭市——。よく行政や農業関係者から、旭市の農業産出額を聞くことがあるかと思えます。平成18年に国から公表されていた数値では、旭市の産出額は418億円と、千葉県全体の10分の1を占めていました。その後、さまざまな理由で発表が中断されていましたが、生産現場からの要望を受け昨年12月、平成26年の統計数値が8年ぶりに公表されました。旭市の農業産出額は514億円で県内1位、全国市町村の中でも6番目となりました。全国1位は愛知県田原市で花卉を中心にして813億円、近県では3位の茨城県銚田市が689億円でありました。全国を通じて園芸・畜産地帯の自治体が売り上げを伸ばして上位に並んでおります。

旭市の農業産出額の内訳は、野菜類182億円、花卉・果実・い

も類・米などで60億円、畜産で272億円であります。畜産は大規模な企業経営が多く集まり、全国屈指の養豚地帯として知れ渡っており、生産者の経営や肥育技術の向上が売上高につながっていると思われます。野菜も施設の大規模化が進み、県下最大の施設園芸地帯として千葉県の園芸をリードしているところです。

旭市の農業は、県下はもちろん全国的にも存在感が大きく上がっており、この国の農業の先駆的な役割を担っている状況です。この事実を市民の皆さんに知ってもらい、自信と誇りを持って知名度アップにつなげてほしいと思います。そしてさらに高い目標に向かって生産者、JA、行政、市民が総力を上げて協力し、旭市の農業を発展させていきたい、そう願うところであります。